

医学コースでは、実際に医療関係者の方が訪ね、自分の職業について語ってくださるので、医療に関心がない人でも自分の視野が広がります。面接練習や志望理由書の添削など、自分の将来に対するサポートもしてくれるので結果的に物理学科に進みはしたものの、医学コースに所属していて良かったと思っています。また、高校生になってからは、塾に通う人も多くなった印象でしたが、それと同時に学校に残って勉強をする人もたくさんいて遊ぶときと学習するときのメリハリがはっきりしていたと思います。自分は学校に残って勉強をしていたのですが、友人達も残って勉強していて、友人達に勉強を教えたり、逆に教わったりしていたので勉強が辛いと感じることはあまりありませんでした。中高一貫のため、先生方も多くいらっしゃるの、勉強がわからないときはよく問題を聞きに行っていました。面接指導も2人の先生が熱心に指導してくださったので、本番の時も緊張せず練習通りの実力を発揮することができました。中学3年次と高校1年次に行う探究活動では資料を集めてレポートを作成します。大学課題でレポートの書き方を学んだ際に、探究活動で一度レポートを制作した経験があったので、この探究活動が自身の助けになっていると感じました。自分の好きな分野を追求できるのも探究活動がもっと楽しくなった理由の1つでもあると思います。

特に文化祭が記憶に残っています。高校1年次はクオリティの高いものは作れなかったのですが、当時の高校3年生の出し物であるコーヒークップに乗って感動し、それから高校2年次以降の文化祭は皆が一度は経験したこともあり、よりレベルの高いものを作ろうと皆で楽しんでいました。文化祭ではクラス企画の他にも劇やバンドなどのステージ企画もあり、自分は裏方でステージ企画に参加していたのですが、とても楽しく一生忘れない思い出になりました。研修旅行では、カナダにホームステイをし、実際に英語を使って数日間生活することで、英語に対する捉え方が変化したように思います。さらに、そこで感じた文化の違いなどをレポートでまとめることで、より客観的に日本の文化と外国の文化の違いを知ることが出来たと思っています。部活動では副部長をしていて、部長を支えながら他の部員と活動するというこれからの社会で大切なことを学べたと思っています。

茨中・茨高の良いところは、中高一貫なので友人たちともっと仲良くなることができることだと思います。6年間、または3年間かけて自分のやりたいことを考えられたのはとても良かったと感じています。また、高校2年生までに高校3年生の学習範囲を終える分野もあるので、高校3年生になったときに学習面で余裕ができることが自分にとってはとてもありがたかったです。行事などの学校生活は基本的に自分たちで考えて行動すること多いので、それによって考える力が成長したなと思いました。

今後は物理を学ぶにあたって、物理学という学問に対する熱意を失わずに自身の興味のある分野を学び続けていきたいです。